

科目名		授業形態	担当教員名	
スポーツ障害理学療法学		講義・演習	中山 伸治	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
スポーツ活動は、幼少期の心身機能の向上、中高年の健康維持・増進、QOL向上、トップアスリートの記録更新・勝利など様々な目的で行われている。スポーツ活動で効果や結果を出すためにはトレーニングレベルの向上が必須であるが、向上すればするほど、障害・外傷のリスクに逆に非常に高くなり、スポーツ活動を継続できなくなる選手や愛好家が多い。 本講義では、前半にスポーツ障害・外傷の原因とメカニズム、一般的なケア（ストレッチング、アイシング、テーピング）等について、後半は上肢、体幹、下肢の代表的なスポーツ障害・外傷の発生機序、病態を学習する。				
授業の到達目標				
スポーツ障害のリハビリテーションの知識と技術を習得する。				
授業計画				
回	内容			
1	スポーツ障害・外傷概論			
2	ストレッチング 演習			
3	アイシング 講義			
4	アイシング 演習			
5	上肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（肩関節①）			
6	上肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（肩関節②）			
7	上肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（肘関節）			
8	体幹のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション			
9	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（膝関節①）			
10	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（膝関節②）			
11	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（膝関節③）			
12	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（膝関節④）			
13	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（下腿・足関節①）			
14	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（下腿・足関節②）			
15	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（下腿・足関節③）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
改訂版 スポーツ外傷・障害に対する術後のリハビリテーション 改訂第3版	園部俊晴 他		運動と医学の出版社	
クライオセラピー ～スポーツ外傷の管理における冷却療法～ 1版	ケネス・L・ナイト		ブäckハウスHD	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				